

令和4年度 社会福祉法人幸府福祉会 事業報告

1、総括

令和4年度も昨年と同様、新型コロナウイルス感染防止に関して、当法人非常事態体制本部の準備及び設置を繰り返しながら対応してきました。しかしながら、各拠点とも利用者職員の感染が見られ、保育や支援活動等の制限等をせざるをえない状況がありました。今年1月になり、入所施設の入所利用者の外泊帰園の感染により、入所者と職員に感染が拡大しクラスターとなりました。幸に、1ヵ月程度で終息し、安定した生活に戻ることができました。この間、利用者やご家族に、また、地域の方々や太宰府市をはじめ関係機関から、多大なご協力とご支援をいただいたことに感謝申し上げます。

昨年の事業においては、何よりも「アクティビティーセンター・コミュニティホール さいふ」を開設することができたことです。通所利用者の感染防止と個別支援による重度者への対応ができることになりました。コミュニティホールにおいては、様々な行事や地域への避難所として整備できたことが大きかったと思います。

人材確保については、令和5年度に向けて、新卒職員3名と中途職員の2名、計5名の方が入職に至り支援体制を確保することができました。人材育成等については、新型コロナウイルス感染のために十分な育成と研鑽を積むことができませんでした。

経営状況については、各事業の稼働率や定員の充足率の対応が新型コロナウイルス感染対策により、十分に対応できず収入減となりました。

このような厳しい状況の中、利用者ご家族はじめ多くの皆様のご協力によって、大きな事故もなく、なんとか事業推進と利用者支援ができたことに感謝申し上げます。

令和4年3月

社会福祉法人幸府福祉会

理事長 草本武俊